

今後の行事予定

介護のお仕事体験 はじめの一步応援します！

■介護体験3日間コースに参加しませんか？

介護は初めて… 私にできるかしら？ ▶ **安心してください！
入職前研修で体験・実践
できます！**

経験はあるけど… 少し不安だわ… ▶

受講・保育 無料

基礎技術が学べます！

自信を持って働けます！

●対象：介護職未経験者または、
手技や知識に自信のない方

●日時：平成29年2月8日(水)・9日(木)・10日(金)
10:00～15:00(昼休憩あり)

●費用：無料

※保育利用可 ※昼食付き ※1日だけの参加でもOK

	AM 10:00～12:00	PM 13:00～15:00
1日目	●オリエンテーション ●講義 ①社会状況について ②介護とは ③高齢者介護について	●療養生活援助 ①シーツ交換 ②口腔ケア
2日目	●講義(安全な介護) ①事故対策 ②感染対策 ③災害対策	●療養生活援助 ①排泄介助 ②移動介助
3日目	●療養生活援助 ①食事援助 ②入浴介助 ●病院・施設見学ツアー	●病棟実習(半日・1日もOK) ●就業相談(お茶会)

お申込み お問い合わせ 医療法人社団永生会 永生病院 看護部長室 担当：齊藤・梶
TEL/FAX 042-661-4172 e-Mail: kango@eisei.or.jp http://www.eisei.or.jp

医療法人社団 永生会

理念：人々に質の高い、安心な、やすらぎにあふれた、リハビリ・マインドのあるヘルスケアサービスを提供します。

永生病院 〒193-0942 東京都八王子市栢田町583-15 TEL.042-661-4108
南多摩病院 〒193-0832 東京都八王子市散田町3-10-1 TEL.042-663-0111
永生クリニック 〒193-0942 東京都八王子市栢田町588-17 TEL.042-661-7780
クリニック0(ゼロ) 〒193-0943 東京都八王子市寺田町490 TEL.042-666-1556

●介護老人保健施設

イマジン 〒193-0942 東京都八王子市栢田町583-15 TEL.042-662-7000
マイウェイ四谷 〒160-0015 東京都新宿区大京町1-3 TEL.03-3355-0428
オネスティ南町田 〒194-0004 東京都町田市鶴間7-3-3 TEL.042-788-0373

●グループホーム

寿限無 〒193-0942 東京都八王子市栢田町590-4 TEL.042-662-6500

●訪問看護ステーション

めだか 〒193-0942 東京都八王子市栢田町513-13-1F TEL.042-661-5080
とんぼ 〒193-0914 東京都八王子市片倉町440-2 TEL.042-632-6351
ひばり 〒193-0835 東京都八王子市千人町2-13-8-1F TEL.042-649-6917
いるか 〒193-0364 東京都八王子市南大沢1-18-11-A103 TEL.042-659-2213
口笛 〒194-0004 東京都町田市鶴間7-3-3 TEL.042-706-8810

●居宅介護支援事業所

ケアプランセンター えいせい 〒193-0942 東京都八王子市栢田町583-15 TEL.042-662-7020
居宅介護支援事業所 片倉 〒193-0914 東京都八王子市片倉町440-2 TEL.042-632-6335
ケアプランセンター びあの 〒194-0004 東京都町田市鶴間7-3-3 TEL.042-706-8808

●八王子市高齢者あんしん相談センター

八王子市高齢者あんしん相談センター 片倉 〒193-0914 東京都八王子市片倉町440-2 TEL.042-632-6331
八王子市高齢者あんしん相談センター 寺田 〒193-0943 東京都八王子市寺田町137-4 TEL.042-673-6425

●病児保育室

はる 〒193-00832 東京都八王子市散田町3-8-10 アーデルKSハイム1F TEL.042-663-0111 (南多摩病院 代表)

医療法人社団 明生会 セントラル病院

本院 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-18-1 TEL.03-3467-5131
分院 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町25-1 TEL.03-3465-5131
松濤 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-11-12 TEL.03-3485-5131

●永生会協力会社

在宅総合支援サービス 十字会ケアステーション 〒193-0833 東京都八王子市めじろ台1-9-1 TEL.0120-537-0800

シャトルバス運行中 永生病院 ▶ めじろ台駅 ▶ 南多摩病院 ▶ 西八王子駅 ▶ めじろ台駅 ▶ 永生病院

さまざまな永生会の機能を患者様・ご家族様・ご利用者様に余すことなく提供できればと考え、コールセンターを開設しています。



永生会コールセンター 0120-001-083 http://eisei.or.jp/

通信eiseiは、年齢や障害の有無に関係なく、多くの人が利用できるようにデザインされたフォント(ユニバーサルデザインフォント)を使用しています。

通信

e i s e i

地域と患者さまに、永生会の今をお届けする



医療法人社団永生会主催 リハビリー泊旅行

できる旅

CONTENTS

- MESSAGE 医療法人社団永生会理事長 安藤高朗からのメッセージ
- 表紙について
- 各施設長挨拶
- TRIP
- えいせいNEWS ●お知らせ
- 交流TOPIC ●あのかたこのかた ●今後の行事予定

73

2017.01

理事長

あんどう たかお

安藤高朗からのメッセージ

通信eisei「新春の挨拶」



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まず、昨年4月に熊本を襲った大地震で亡くなられた方々に改めてお悔やみ申し上げるとともに、被害を受けた方々にお見舞いを申し上げます。震災に際しては、発生翌日に南多摩病院・永生病院から災害救助医療チームが熊本に向かい、医療救護所

を巡回しての診療をはじめ、救護物資の輸送、情報収集等の救援活動に当たりました。スタッフ一同、現地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

また、昨年8月にはブラジルのリオデジャネイロでオリンピック・パラリンピックが開催され、日本代表選手の大活躍を目の当たりにして、4年後の東京オリンピック・パラリンピックへの期待が大きく膨らみました。4年後に向けて、選手も観客も安心して東京に集まり参加でき、東京から日本全体が明るくなるように、病院・施設としてできることをしっかりと取り組んでいきたいと気持ちを新たにしました次第です。

さて、わが国では「地域医療構想」「地域包括ケアシステム」という大きな2つの医療政策が進められており、永生会も地域の医療・介護を支えるべく注力しております。

各施設での取り組みといたしましては、永生病院では昨年、地域包括ケアを医療面で支えるべく、急性期治療を経過し、病状が安定した患者様に対して、在宅や介護施設への復帰に向けた準備を整えるための「地域包括ケア病棟」を開設しました。また南多摩病院は、救急病院として最大限に地域

に貢献するべく、「断らない救急」を掲げて努力を重ねて参りました。結果として救急搬送応需率は98.5%を達成し、9月9日救急の日には東京都から表彰をいただきました。

永生クリニック・クリニックゼロでは外来、訪問、リハビリテーションのご利用も着実に伸び、ケアマネージャーの皆様や地域住民の方々向けの健康講座も行いました。介護老人保健施設イマジン・マイウェイ・オネスティではデイケアの充実を図るとともに地域の方々に参加していただく行事も開催しました。

訪問看護ステーションひばり・とんぼ・いるか・めだか・口笛においても家族会の開催など地域に根ざした活動を行い、十字会ケアステーションでは介護予防の活動にも着手しております。

このように、昨年は地域の方々・医療機関・介護施設・医療介護関係者の皆様方との連携を大切に、様々な取組みをしてまいりました。

今年は酉年であり、飛翔の年です。また、酉（とり）は申（さる）と戌（いぬ）の間に入り、調整と連携を図る存在です。さらに、酉年は「トリ込む」につながり、運氣もお客様も集まる年とも言われています。

永生会と致しましては、「医療・介護を通じた街づくり・人づくり・思い出づくり」のビジョンに向け、それぞれの病院・診療所、施設・事業所が、来年度みなみ野で竣工する予定の新しい病院とあわせて、それぞれの役割と機能に応じた、地域での調整と連携を図りながら、地域の皆様方の安心・安全に貢献したいと考えております。

本年もよろしくお願い申し上げます。

医療法人社団永生会理事長 安藤高朗

Blog安藤たかおの見聞録 <http://ameblo.jp/ando-takao/>



<https://www.facebook.com/takao.ando.395>

表紙について

「旅行に行きたい」をサポートします

お体に不安がある方でも自由に楽しい旅行に行けるように、という想いからはじまった永生会の介護付きリハビリ旅行企画。

11年目の今年は更なる充実を図り、新企画名「できる旅」として、紅葉の美しい秋の河口湖に出掛けました。

医療法人社団永生会主催 リハビリー泊旅行

できる旅

各施設長挨拶



永生病院 飯田達能 院長

明けましておめでとうございます。旧年中は永生病院にご支援いただき感謝申し上げます。新年を迎え、地域の皆様が住み慣れた街で安心して過ごしていただけるよう、回復期・慢性期医療を通じて地域包括ケアシステムを強化し、地域貢献できるよう職位一同、努めて参ります。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



永生クリニック 金子弥樹 院長

昨年10月に永生クリニック院長に就任させていただきました金子と申します。新年の挨拶と合わせまして今後どうぞよろしくお願い申し上げます。当クリニックは永生病院の外来部門を担っており、予防から治療、在宅から入院まで幅広く皆様の健康をサポートしております。これからも地域に貢献できるよう職員一同努力して参ります。



イマジン 小池順平 施設長

明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、まことに有難うございました。超高齢社会を迎え、国の財政も厳しいなか、医療・介護の世界は今年も厳しい年が続きますが、職員一丸となって質の高い介護に取組み、地域の皆様に喜んでいただけるよう努力したいと思います。今年もよろしくお願い申し上げます。



オネスティ南町田 菊池友允 施設長

明けましておめでとうございます。旧年中は当施設の運営に御理解、御協力いただき有難うございました。国勢において介護を取り巻く状況は更に厳しくなっておりますが、老人保健施設の本来の役割である在宅支援、在宅復帰支援を果たせるよう職員とともに頑張っていきたいと存じます。本年もどうぞよろしくお願い致します。



南多摩病院 益子邦洋 院長

明けましておめでとうございます。昨年中は数々のご厚情を賜り、誠に有難うございました。今年は救急受入体制を強化し、診療の質の向上を図ると共に病院救急車の運用を促進致します。皆様からより一層信頼され、地域のお役に立てる救急病院となるよう、スタッフ一同頑張っております。今年も何卒宜しくお願い申し上げます。



クリニック0（ゼロ） 境野博久 院長

明けましておめでとうございます。地域の皆様からお力添えいただき、このクリニック0（ゼロ）も外来、往診・訪問診療、デイケア、訪問リハビリと多くのサービスを提供できるまでになりました。心から感謝申し上げます。今年はさらに地域とのつながりを強くし「小さな頼れる診療所」となれるようスタッフ一同尽力して参ります。



マイウェイ四谷 南智仁 施設長

明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、まことに有難うございました。このマイウェイ四谷も開設されて10年以上が過ぎております。改めて初心に帰り、利用者様と地域に頼られる施設となれるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



在宅総合ケアセンター 加藤公恵 センター長

明けましておめでとうございます。永生会が在宅支援事業を始めて18年。介護保険は役に立っているけれど未来にお金が不足することは確実です。安心して家で暮らすための地域のつながりも不透明です。ここにはやれることがたくさんあり心強い仲間もたくさんいます。チームで働く強みを生かして今年も一歩前に！



写真左から、松山みのりさん、高橋藤さん、お孫さんの亜弥さん

医療法人社団永生会主催 リハビリー泊旅行

高齢者やお体の不自由な方の
「旅行に行きたい」をサポートする、永生会の旅行企画。
おかげさまで毎年大変ご好評いただき、
今年で11年目を迎えました。



大好きなおばあちゃんと温泉でゆったり

「おばあちゃんが倒れたのは、もう10年以上前のこと。それからずっと、一緒にお風呂に入ることなんてなかったですね…」どこか懐かしげに眼を細めるのは、高橋亜弥さん。今回、おばあさまの藤さんと「できる旅」に初めて参加されました。

「永生会の利用者様に旅行を楽しんでほしい、行きたいところに行くという希望を叶えてほしい」という思いからはじまった介護付きリハビリ1泊旅行。おかげさまで11年目を迎えた今年は、ご利用者様14名、ご家族8名、15名のスタッフの計37名で、紅葉の美しい富士河口湖へ足を伸ばしました。観光地を回り、郷土料理やお土産ショッピングを楽しんで、14時過ぎには宿泊先の富士レークホテルに到着。夜の宴会までの時間は、ゆったりとお部屋でくつろいだり、景色や温泉を楽しんだり、とても堪能顶きました。

車椅子の藤さんは、同行スタッフの介助付きで貸切温泉へ。「お孫さんも一緒にいかがですか？」そんなスタッフのひとことから、お2人並んでお湯に入りました。

いつもと違う環境で、トイレや食事、お風呂など、参加者にとってのチャレンジを大切にしているのも「できる旅」の特徴。意欲的に自らやってみようとする藤さんと、おばあさまに優しく寄り添うお孫さんの姿はとても印象的でした。実は亜弥さん、社会人で看護師を目指しているとのこと。頑張ってくださいね。

旅行中、藤さんの担当をされた松山みのりさんは、普段は病棟で活躍するベテラン看護師。2日間付き切りで過ごしてみて、日常生活における障害の多さに新たな発見があったそう。「はじめは緊張しましたが、藤さんの頑張る姿や、積極的におばあちゃんに手を差し伸べようとするお孫さんの姿に、自分は何ができるか考えながらサポートしました。」と語る。

帰りのサービスエリアで、藤さんからみのりさんへ
プレゼントされた、可愛らしいストラップ。大切な宝物です。(右)



医療法人社団永生会主催 リハビリー泊旅行特集

想いをひとつに、最高のチームで成長できる達成感

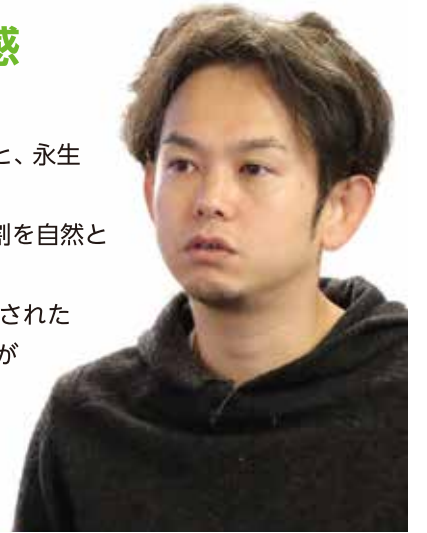
クリニック0 (ゼロ) 袴田真幸さん (理学療法士)

この企画の始まりはリハスタッフからでしたが、現在では、医師・看護師、財務、広報と、永生全体で創り上げる企画になりました。

皆が参加者への想いを共有することでひとつになり、それぞれの専門性を活かした役割を自然と担っていく最高のチームになってきたと感じています。

10周年を迎えた今回は、実務面でリーダーだった先輩に代わり、企画運営の中心を任されたことで大きな責任を感じていましたが、それまで自分のしていた役割を別のスタッフが補ってくれ、また別のスタッフが空いた役割を担い…と、全員がステップアップすることでチーム全体の成長も成し遂げられました。

普段の生活から少しチャレンジをして旅行を楽しみ、チャレンジした結果を普段の生活の中に活かしていく。そんな好循環を生み出していけたらと考えています。



病院の中では体験できない気付きにあふれた2日間

永生クリニック 安川早乙女さん (看護師)

身体の機能や、体調が心配で旅行が不安、もう旅行なんていけないかも、と思っている方に「できる旅」が後押しします。身体機能のサポートだけでなく、医療サポートがある安心感で、いつもと違う風景、美味しい食事、楽しい仲間がいる旅、そんなハピネスのお手伝いができればと思います。

利用者さんやご家族の笑顔は看護師としてのやりがいにもつながります。旅行を通して看護で出来ることを考え、関わることから学ぶことは、自分のハピネス体験にもなりキャリアアップにつながると思います。



よりわかりやすい表現で、活動を広めたい

法人本部 齊藤梓さん (広報担当)

今回、企画名を「できる旅」に変え、旅行企画のブランディングを進めています。今回、撮影班として旅行にも同行しましたが、ファインダーを通して見た参加者の表情の変化が、この企画を行う意味を物語っていました。

今後は写真展や映像コンテンツの展開、次回広報の切り口も、もっと広げていきたいです。



2016
年度

できる旅 ユニバーサルリゾート宿泊とキャンドルづくり! 秋の河口湖 1泊2日の旅



行程

日程	行程	食事
1日目	八王子市内 ― 八王子IC ― 中央道 ― 一宮御坂IC 響の里 (庭園散歩・昼食・太鼓ショー鑑賞) ― 河口湖温泉	朝:× 昼:○ 夕:○
2日目	河口湖温泉 ― 富士湧水の里水族館 (見学) ― ほうとう不動 (昼食・ショッピング) ― 河口湖体験工房クラフトパーク (ジェルキャンドル作り体験) 河口湖IC ― 中央道 ― 八王子IC ― 八王子市内	朝:○ 昼:○ 夕:×

連絡先情報

●永生会リハビリ統括管理部 (担当: 荒尾) ●永生クリニック看護部 (担当: 安川) ●法人本部総務部広報 (担当: 齊藤)

永生クリニック健康ブース出展 in いちょう祭り2016

恒例となった、永生クリニックの健康ブース出展。「腰痛予防・相談コーナー」を設けて重心測定やストレッチ方法などを無料でアドバイスします。今回はのぼりや配布チラシを作るなど広報面にも力を入れました。ブースには112名が来られて盛況。スタッフ一同地域貢献に努めてまいりました。



クリスマスイベント2016



2016年も各施設でクリスマスイベントが行われました。施設それぞれのクリスマスが行われる中、永生会名物の安藤理事長による“風船サンタ”も出動。患者様から「今年はいつ来るの?」と問い合わせが来るほどの人気キャラ(笑)。トナカイとツリーを連れて駆けまわる風船サンタが皆様に笑顔とプレゼントを届けました。



お知らせ

みなみの病院 建設情報 1

2016年9月に地鎮祭を行い、八王子市みなみ野地区に新設する病院の建設工事が順調に進んでいます。建設と同時に、地域にとってどのような医療・介護サービスが望まれているか、プロジェクトメンバーによる小まめな打ち合わせが日々行われています。引き続きこの広報誌をはじめホームページなどで進捗情報を報告してまいります。



支柱の埋め込みや土台固めなど、基礎工事を中心に工事が進行しています。

第2回 ケア・バル2016



主に八王子市内で、ケアに関わる人々たちの地域交流を目的としたこのコミュニティ。2015年の1月を初回にスタートして早くも二年が経ちました。普段はカフェの雰囲気でお茶をしながらコミュニケーションを取るのですが、12月21日は忘年会を兼ねて「ケア・バル」としてアルコールも含めたドリンクメニューを提供。2016年を締めくくりました。

定期的に開催しておりますので、ゆる〜い気軽な気持ちで参加してみてください。

主に八王子市内で、ケアに関わる人々たちの地域交流を目的としたこのコミュニティ。2015年の1月を初回にスタートして早くも二年が経ちました。普段はカフェの雰囲気でお茶をしながらコミュニケーションを取るのですが、12月21日は忘年会を兼ねて「ケア・バル」としてアルコールも含めたドリンクメニューを提供。2016年を締めくくりました。

税理士の水野さん。
このコミュニティの常連さんです。



元パートの尾藤氏。
本格的なカクテルやドリンクをご提供します。

問い合わせ先 ケアカフェ八王子 (担当: 湯浅) 080-2349-7308

あのかた このかた

気になる職員にスポットを当ててご紹介するこのコーナー。
今号では永生会の縁の下の方たちである法人本部から、春日井本部長のご紹介です。

永生会 法人本部 本部長 **春日井 久**



法人全体に関わる立ち位置から、より良い経営を目指して

●法人の様々な事業展開に携わられていますね。

永生病院の新館増築を行うタイミングで安藤理事長(当時は永生病院の副院長)に声をかけてもらったのが永生会に入るきっかけでした。前職でも病院で事務長を務めていましたが、永生会よりもっと規模が小さかったため入職時は面食らいましたね。永生病院の新館建設時(約26年前)は地域の方々にもいろいろご不安があったようで、何回も話し合いを行い、少しずつ目線や方向性を合わせてもらえるよう努力をしました。地域や職員の声と向き合いながら調整するのは大変でしたがやりがいがありました。事務職の大きな役目だと思います。

●仕事観を教えてください。

医療業界の事務職には収益の意識は特に必要だと思います。私も医療事務を勉強して病院の収入の仕組みを学びました。事業展開の発想や人材の確保など、広い分野で生かせる知識です。事務職の方々にはこの目線を持っていて欲しいですね。

あと、実は私医者になりたいんですよ、今でも(笑)。医者であったならもっといろいろなことに挑戦したり解決できたりできたのと思います。事務職ができることには限界がありますが、様々な部署と関わる今の業務は財産にもなっています。

現在はみなみ野病院(新規建設中)の事業にも携わっていますが、健全な経営を軸に地域にとって何が一番望まれるサービスなのか、今も模索を続けています。永生会の掲げる「街づくり、人づくり、想い出づくり」というマインドに沿って、地域に根ざした事業展開を目指していこうと思います。



みなみ野病院イメージ図